

国語選抜試験 模範解答

■採点基準
記述式問題では、同意表現は可。書きぬぎの場合のみ、正答例以外は不可。

新中三

一 次の——線の読みを書きなさい。

- (1) 岬みさきの突端とつたんに立つ。
恩恵おんゑを享受する。
硬軟織り交ぜて対応する。
服のほころびを繕つくろう。
チョウが物のかげに潜ひそむ。

(1) とつたん

(2) きようじゆ

(3) こうなん

(4) つくろ (う)

(5) ひそ (む)

二 次の——線を漢字で書きなさい。

- (1) 主人しゅじんにちゆうせいちゆうせいを誓ちかう。
未知みちのりよういきりよういきを探検する。
この品物の品質しんしつをほしようします。
祖母そぼは身をここにして働いた。
木々が赤みをおおびてきた。

(1) 忠誠

(2) 領域

(3) 保証

(4) 粉

(5) 帯 (びて)

三 次の各問いに答えなさい。

問一 次の各文の——線の動詞について、A群から活用の種類を、B群からその活用形をそれぞれ選びなさい。
(1) この曲を自分で演奏えんそうしてもうまいかない。
(2) あそこに見えるのが私たちの学校です。

A群

ア 五段活用

イ 上一段活用

ウ 下一段活用

B群

ア 未然形

イ 連用形

ウ 終止形

エ 連体形

オ 仮定形

カ 命令形

⚠活用の種類は、カ行変格活用とサ行変格活用は覚え、その他は「ない」をつけて判断する。活用形は直後の語で判断する。

(1) A オ B イ 完

(2) A ウ B エ 完

問二 次の漢字のうち、音読みしかもないものを、ア〜クからすべて選びなさい。

- ア 駅 イ 何 ウ 絵 エ 共 オ 鍵
カ 公 キ 査 ク 劇

ア・ウ・キ・ク 完

問三 次の文の□にあてはまる言葉を、漢字一字で書き、慣用句を完成させなさい。

・私は、いなくなった子犬を、足が□になるほど探しまわった。

⚠「足が棒になる」は「ひどく疲れる」の意味である。

棒

次の短歌を読んで、問いに答えなさい。

A 湧きいづる泉の水の盛りあがりくづるとすれやなほ盛りあがる
窪田空穂

B いづくにか父の声きこゆこの古き大きな家の秋のゆふべに
若山牧水

C 楽章の絶えし刹那の明るさよふるさは春の雪解なるべし
馬場あき子

D せめてわが自由になるものを自由にせむ、自由なるもの。三つか二つを
土岐善磨

(注) 刹那—きわめて短い時間。瞬間。
雪解—雪が解けること。雪どけ。

問一 —線①「湧きいづる泉の水」とありますが、これはどのような動きをしていますか。次の文の□にあてはまる言葉を書きなさい。

□ 動きをしている。
①直後の部分に注目する。(例) 盛り上がりくづれかけては、また盛り上がる

問二 B・Cの短歌の句切れを、ア～オからそれぞれ選びなさい。

- ア 初句切れ イ 二句切れ ウ 三句切れ
 - エ 四句切れ オ 句切れなし
- ①句切れは用言・助動詞の終止形や終助詞に注目する。Bは「きこゆ」が動詞の終止形である。Cは「よ」が終助詞である。
- B C
イ ウ

問三 B・Cの短歌の鑑賞文として最も適当なものを、ア～オからそれぞれ選びなさい。

- ア 家族と故郷で過ごす時間をしみじみといとおしむ気持ちを感じられる。
 - イ 故郷で聴いた楽曲に思いをはせ、春までには帰りたいと思っている。
 - ウ 亡くなった家族の面影を家の中に感じて、悲しみをかみしめている。
 - エ 静かさの中に孤独を感じ、故郷に戻りたいと切実に願っている。
 - オ 一瞬感じた明るい気持ちに、故郷の春の情景を重ね合わせている。
- B C
ウ オ

問四 —線②「三つか二つを」のあとに省略されている言葉を、短歌の中から書きぬきなさい。
①「自由なるもの」うち、「三つか二つを」どうしたいのかと考える。

自由なせむ

